

Fukuoka City Public Library Movie Hall
福岡市総合図書館映像ホール



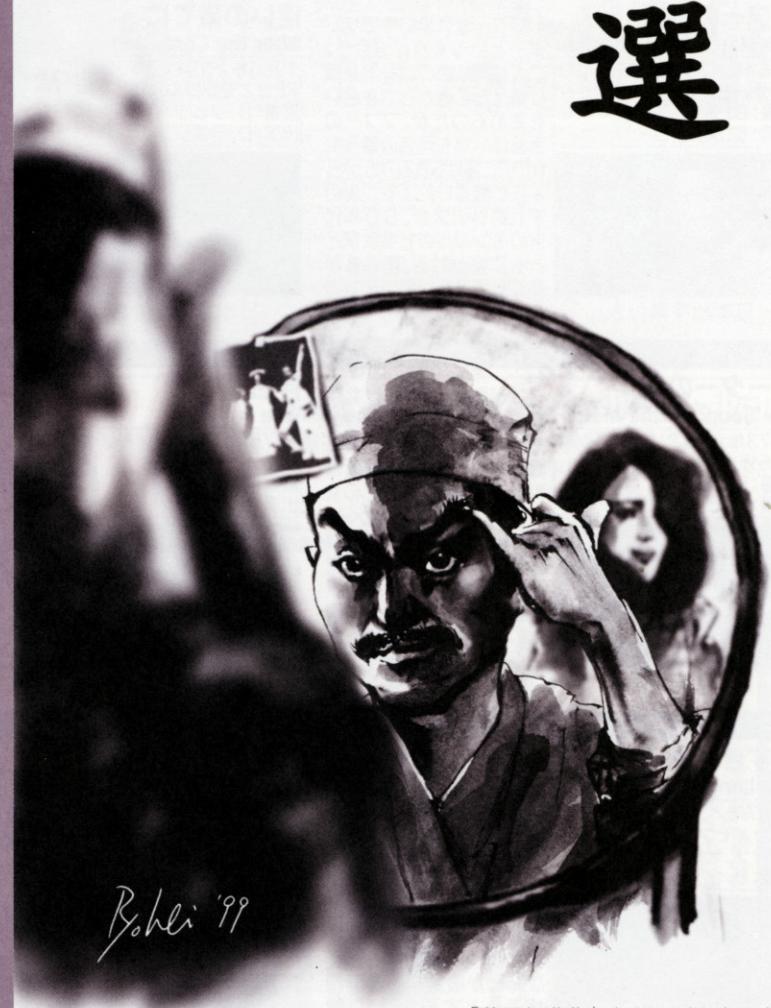
Ciné-là NEWS

シネラ・ニュース

September.1999 No.38

日本映画名作選

特集



「蒲田行進曲」／イラスト：山下良平

[特別企画]

モンゴル映画レトロスペクティブ

特別企画

大草原と遊牧民の国モンゴル。社会主义時代の作品10本を含む40年代から現在まで、モンゴル映画史のレトロスペクティブ。

モンゴル映画の歴史とその発見

どこまでも続く大草原、広い空には鷹が舞い、草原を馬が走る。どこか懐かしさを感じるようなモンゴルの人の顔。通常、我々がモンゴルに感じる印象は、そのままモンゴル映画の魅力の一つでもある。だが我々がモンゴル映画に触れたのは最近のことなのである。

映画藝術がモンゴルにもたらされたのは1930年代であった。最初の長編劇映画は36年の「モンゴルの息子」であるが、これはソビエトとの共同製作であった。ソビエトを模して社会主義国を建設しようとする時代、映画人はソビエトで学び、革命や友好をテーマとした作品が数多く創られる。そして50年代から70年代にかけて、社会ドラマや児童映画など多彩なジャンルの作品も製作されるようになり、モンゴル映画はめざましい発展を遂げる。70年代の年間製作本数は劇映画で5本～7本であるが、ドキュメンタリーは80本にのぼっている。そして90年代初め、モンゴルでは民主化運動が起き、市場経済が導入されるに伴い、劇映画の年間製作本数は20～30本になっている。つまりモンゴルは、60年を越える映画史とかなりの製作本数を持つ中央アジアの映画大国なのだ。

モンゴル映画レトロスペクティブ

ところがモンゴル映画が日本で紹介されたのは、93年の「アジアフォーラム・福岡映画祭」におけるモンゴル特集が最初といつても過言ではない。この時上映された民主化以後の作品を中心とした6本のモンゴル映画は、知られざるモンゴル映画の一端を、新鮮な驚きと共に我々に教えてくれた。このモンゴル映画の発見は世界を巡り、以後、定期的にモンゴル映画が紹介されるようになったのだ。そして今回上映するのは、45年の名作「ツォクト・タイジ」から87年の「永すぎた夏」まで、モンゴルが自由化する前、社会主義体制の中で製作された名作10本を中心している。知られざるモンゴル映画の分厚い歴史の一ページが、今開かれようとしているのだ。

会期／9月1日(水)～9日(木) 22日(水)～29日(水)

※休館日・休映日を除く

観覧料／800円(大人) 600円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は400円。(手帳の呈示が必要です。)

1日(水)14:00 5日(日)15:00

ツォクト・タイジ

Tsogt Taij

1945年/35ミリ/モノクロ
155分/モンゴル
監督: M.ロブサンジャムツ、M.ボルド
出演: Ts.ツエグミド



(日本語字幕付き)

16世紀末、台頭する満州人は後金国を建て、モンゴルを脅かす。モンゴルの為に戦う最後の大戦争、リグデン・ハーンに忠誠を誓うハルハのツォクト・タイジの活躍を描く歴史大作。89年にモンゴルで実施されたアンケートでは、「モンゴルらしい映画」のトップに選ばれたモンゴル映画史上の重要な作品。

1日(水)19:00 4日(土)11:00

人民の使者

A Messenger of the People

1959年/35ミリ/モノクロ
84分/モンゴル
監督: D.ジグジド
出演: Z.ガルサンダンサン



(日本語字幕付き)

新生モンゴル革命政府の転覆を企てる封建領主達の動きを伝える手紙が、若い夫婦の手によって、革命の英雄スフータルの元へ届けられるまでを描いた作品。「ツォクト・タイジ」で撮影を担当したジグジドの初監督作品であり、見事な馬での追跡シーンなど抜群のカメラワークと美しい映像で見る作品である。

2日(木)14:00 3日(金)19:00

また馬に乗りたい

If only I Have a Horse

1959年/35ミリ/モノクロ
57分/モンゴル
監督: R.ドルジバラム
出演: D.ロブサンチミド



(日本語字幕付き)

馬を自動車と競争させて死なせてしまい、馬飼いの仕事を取り上げられてしまつたドントダグが、また馬に乗るために奮闘する物語。遊牧民であるモンゴルの人々と馬との深い絆が理解できる作品であり、機械文明と馬とを対比している点が興味深い。ロマンチックで楽天的な笑いがちりばめられたモンゴル映画であり、巨匠・ドルジバラム監督の作品。

2日(木)19:00 4日(土)15:00

フーの結婚

The Marriage of Khokhuu

1962年/35ミリ/モノクロ
80分/モンゴル
監督: B.ジャムスラン
出演: B.ダシダワー



(日本語字幕付き)

フーは列車の中でソブダーという女性に出会う。二人は同じ色のコートを取り違えたことからつき合いを始めるのだが、フーの手紙はいつも同名の違う女性の元に届けられるのだった。手紙の間違いによる二人のすれ違いの恋が、50年代末のモンゴルの社会状況とともに描かれる。同名者が多く郵便事情が悪いモンゴルならではのコメディー映画。

8日(水)19:00 23日(木・祝)11:00 29日(水)14:00

モーターの音

The Sound of the Motor

1973年/35ミリ/モノクロ
105分/モンゴル
監督: B.ソムフー
出演: N.ビヤンバツォクト



(日本語字幕付き)

ゴビ地方、ガナーは井戸汲み用のモーターの修理のために、小さな小屋に一人で暮らしていた。この映画はガナーと地元の人々との交流、そしてガナーと近くに住む少女ウルジーとの恋愛を描いたものである。歴史活劇に定評があったソムフー監督が、方向転換して製作した現代ドラマで、モンゴルにおけるニューウェーブ映画の傑作となった。

22日(水)14:00 26日(日)11:00

永すぎた夏

Too Long Summer

1987年/35ミリ/カラー
95分/モンゴル
監督: J.セレングスレン
出演: D.ソソルバラム



(日本語字幕付き)

港町ハンハに住む足の不自由な少女アリヨーナー、一方船荷の積み下ろし人夫ガラーは気立ては良いのだが、一貫な性格のため、人の衝突が絶えなかつた。ガナーはアリヨーナーの足が良くならないのは、彼女の心の問題だと考え、なんとか彼女の心を開かせようとする。美しい雪山と港町を背景に展開する、純粋な恋愛劇である。

9日(木)14:00 23日(木・祝)15:00 29日(水)19:00

伴侶

Wife

1975年/35ミリ/モノクロ
102分/モンゴル
監督: B.ソムフー
出演: N.ソブダー



(日本語字幕付き)

トゥマルと妻のナランは仲の良い夫婦だったが、トゥマルの父は結婚して三年もの間子供ができないナランに不満を持っていた。心臓病で医者に子供を産むことを止められているナランだが、義父との対立のため、とうとう子供を産む決心をする。当時の社会の変化を、地方と都市との価値観の違い、民族性と国際性という対立の中に浮き彫りにした作品。

22日(水)14:00 26日(日)11:00

さまよう雄鹿

Running Antelope

1993年/35ミリ/カラー
70分/モンゴル
監督: I.ニヤムガワー、N.ニヤムダワ
出演: ブルブルジ



(日本語・英語字幕付き)

ダンバは妻子がありながら愛人トコフを持ついた。妻に責められたダンバは妊娠したトコフと暮らすが、妻のテジモもまた妊娠し、なんとか夫に戻つてもらおうとするのだった。二人の女の間を揺れ動く男のドラマが、大草原を背景に展開する。お互いにかけながらも素直になれない登場人物達の心情が、大らかに表現されている。

24日(金)19:00 26日(日)15:00

迎える季節

Summer is Coming

1986年/35ミリ/カラー
85分/モンゴル
監督: J.ポンタル
出演: L.ロブサン



(日本語字幕付き)

牧畜民の娘マラルマーは、兵役にいった恋人のゴトブの帰りを待っていた。ある日彼女の元に牧畜を学ぶためにウランバートル育ちのソロンゴーという女性がやってくる。実は彼女も密かにゴトブの帰りを待っていたのだった。この映画は恋愛映画の体裁をとっているが、撮影当時危険が叫ばれていたモンゴルの牧畜状況を批判的に描いた作品である。

ゴビの聖者

Ferocious Saint Lord of Gobi

1998年/35ミリ/カラー
106分/モンゴル
監督: I.ニヤムガワー
出演: D.ソソルバラム

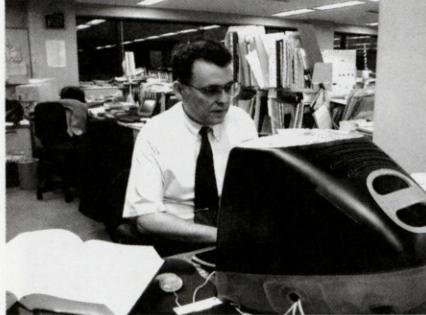


(日本語・英語字幕付き)

この映画はモンゴルの文学、演劇、音楽、美術などに大きな影響を与えた、19世紀の生き仏、アラブジヤー・ホトグの生涯を描いた歴史映画である。アラブジヤーが母と5歳のときに死別して、チベット仏教の黄帽派により毒殺されるまでの生涯が、彼の作による詩や歌、音楽などを交えながら描かれていく。

映画字幕の洒落

当館では日本映画に英語字幕をつけて上映する時、フィルムに字幕を焼かずに字幕をプリントと一緒に映写します。その字幕翻訳をやっています。字幕翻訳でも翻訳は翻訳だとみなさんは思っていらっしゃるのではないかでしょうか。それが違うんです。映画を見る人は、まず映像を見て、それから原語の台詞を聞き終えてから字幕に目を通します。ですから字幕を全訳することができません。なぜなら観覧者が全訳を読み終える前に映画は次の台詞に移ってしまうからです。ですから多くの場合、



英語字幕翻訳中！

字数に余裕があると思っていても最終的にそれ以上に翻訳を縮小する必要があります。したがってこの編集をするにも時間をとってしまい、私は字幕作業のスタッフのみなさんにいつも迷惑をかけてしまいます。出来るだけ分かりやすい字幕の翻訳を目指していますが、「生姜がないからしようがない」や「わたしやキモチヤキなの、だってあたしがお沢庵切ると、いつだってつながってるんですもの」等の洒落っぽい台詞にはいつも悩まされています。今まで黒澤、小津、成瀬監督等の名作に英文字幕を付けてきましたが、日本の映像文化のひとつでもある「SF作品」を特集する際、在福外国人のためにもこのような映画に字幕を付けたいと思っています。ちなみに1956年に制作され新天町をもののみごとに再現している「空の大怪獣ラドン」は既に翻訳済みです。

映像調査員 David Kalischer
※本コラムは本人の日本語で作成しています。
また今月上映の「浮雲」「近松物語」の英語字幕担当もあります。

お知らせ

インターネット・ホームページのお知らせ

福岡市総合図書館のインターネット・ホームページが開設されました。この中では、映像ホール・シネラの上映予定や番組作成時期の事情でこのシネラニュースに掲載できなかったミニシアターの上映予定が掲載されています。また、当館が収蔵している映画ファイルリストもあります。ご利用をお待ちしております。

URL <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影された8ミリビデオや各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄、デジタルビデオの編集は不可)

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介や上映スケジュール、図書館で開催される各種イベント等の情報を満載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。定期購読を希望される方は平成11年10月号より平成12年3月号迄の郵便切手(90円×6枚)を同封の上、下記宛先までお申し込み下さい。

宛先:〒814-0001福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館 映像資料課

INFORMATION



映像ホール利用申し込みについて

平成12年2月以降、映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期間:平成12年2月23日(水)~2月27日(日)
9月1日(水)11時より受付

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課 TEL:092(852)0608までお問い合わせ下さい。

次号の予告

特集 ラブストーリーを君に

香港映画の古典「同名鴛鴦」、インドの名作「シャンカラバラナム」等、アジア各国で大ヒットとなった恋愛をテーマにした映画を特集。

特別企画 ひあフィルムフェスティバルin福岡

日本最大の自主製作映画コンペティション巡回上映。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

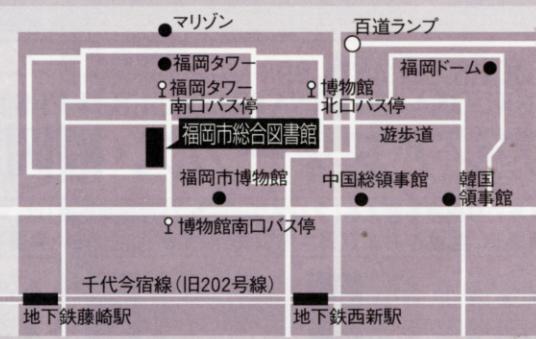
福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

デザインワークス/VOW OFFICE co.,ltd.

上映スケジュール

9月

1 水	14:00 モンゴル映画	19:00 人民の使者
2 木	14:00 また馬に乗りたい	19:00 フリーの結婚
3 金	14:00 迷いの果てに	19:00 また馬に乗りたい
4 土	11:00 人民の使者	15:00 フリーの結婚
5 日	11:00 迷いの果てに	15:00 モンゴル映画
6 月		休館日
7 火		休映日
8 水	14:00 はじめの一歩	19:00 モーターの音
9 木	14:00 伴侶	19:00 迎える季節
10 金	14:00 浮雲	19:00 近松物語
11 土	11:00 夫婦善哉	15:00 浮雲
12 日	11:00 青春残酷物語	15:00 近松物語
13 月		休館日
14 火		休映日
15 水	11:00 青春残酷物語	15:00 心中天網島
16 木	14:00 ツイゴイネルワイゼン	19:00 アントニー・ガウティー
17 金	14:00 夫婦善哉	19:00 蒲田行進曲
18 土	11:00 蒲田行進曲	15:00 ツイゴイネルワイゼン
19 日	11:00 アントニー・ガウティー	15:00 心中天網島
20 月		休館日
21 火		休映日
22 水	14:00 永すぎた夏	19:00 さまよう雄鹿
23 木	11:00 モーターの音	15:00 伴侶
24 金	14:00 さまよう雄鹿	19:00 ゴビの聖者
25 土	11:00 はじめの一歩	15:00 迎える季節
26 日	11:00 永すぎた夏	15:00 ゴビの聖者
27 月		休館日
28 火		休映日
29 水	14:00 モーターの音	19:00 伴侶
30 木		休館日



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: 天神→都市高速経由→福岡タワー南口

(所要時間 屋間で約20分)

博多駅→都市高速経由→福岡タワー南口

(所要時間 屋間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、屋間は10~15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

編集雑記

毎月できあがつた「シネラニュース」を見ながらお客様の入りを予測する。映画(じやしん)を提供する側(図書館職員)の気持ちと、観て側(お客様)の気持ちがバッチり合った時は、入場者数もぐんと跳ね上がる。この時はスタッフ一同(内心)ニンマリする。気持ちが合わない時は逆の現象となり反省の毎である。今月のラインナップは芸術文化の秋にふさわしい「日本映画名作選」と「モンゴル映画トロススペクティブ」と題した東アジア地域の佳作を揃えてみた。さてお客様の反応はどうだろう。喜びの秋か悲しみの秋か=何れにしても悲喜交々の秋であることには間違いない。(映像ライブリーダー担当 岩下)

印刷／(株)ドミックスコーポレーション 古紙配合率80%再生紙を使用しています。

R280